



南丹市立美山小学校

オフィシャルウェブサイト



〒601-0751 京都府南丹市美山町島 島台52番地 TEL: 0771-75-0017 FAX: 0771-75-0106 MAIL to: miyama-es@kyoto-be.ne.jp
通級指導教室（ことばの教室） TEL:0771-75-1097

美山小学校WEBページ

トップページ

- 学校紹介
- 行事予定
- 学校だより
- 研究推進
- 学校評価
- 美山学
- 美山学だより
- 図書室だより
- R3年度美山っ子日記
- 感染症対応マニュアル
- 就学援助制度について
- いじめ防止基本方針
- 気象警報等の対応
- 全国学力・学習状況調査結果

since 2016.04.01

COUNTER 830895

リンク集

[南丹市教育委員会](#)
[南丹市役所](#)
[京都府教育委員会](#)
[京都府南丹教育局](#)
[文部科学省](#)

[南丹市立美山中学校](#)

南丹市立美山小学校

〒601-0751
京都府南丹市美山町島 島台52番地
TEL 0771-75-0017
FAX 0771-75-0106
MAIL miyama-es@kyoto-be.ne.jp



本ホームページの著作権は、南丹市立美山小学校に帰属します。

図書室から本のこと、読み聞かせのこと、言葉にかかわる話題などお伝えします!!

日誌

図書室からのお知らせ

◀ 前 1 2 3 4 5 6 次 ▶

カテゴリ選択 ▼

10件 ▼

■ 2022/09/26 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

1年生

紙芝居 「ききみみずきん」

作)堀尾 青史 童心社

若者が氏神様からもらった頭巾をかぶると、鳥の話がわかるようになりました。
村の長者の娘の大病の原因を鳥から聞いた若者は...



「ききみみずきん」は動物のことがわかる頭巾のお話ですが おじいさんが主人公だったり キツネの声が聞こえたり、と いろんなパターンがあるようです。

みんな静かに聞いてくれていましたが 「氏神様」とか「はっけや」など知らない言葉がでてきて お話の内容がわかりにくかった子もいたようです。

昔話を読むときは そういうことも考えて選ばないといけないな、と 改めて思いました。

前回 ももたろうの昔話を読み聞かせでしていたようで ももたろうさんの歌をうたいながらの手遊びで終わりました。

2年生

「さつまいもおくさん」

作)もとしたいづみ 小学館

ある日、子どもたちがおいもほりにやってきた。

「えい!」と抜くと、ぽーんと空高く飛ばされてしまった。

気持ちよく空を飛んでいたと思ったら、暑くて焼きいもになりそう~。

おひさまがじりじり照りつけている、と思ったら、そのまま海の上へ真っ逆さま。落ちたところは?

さつまいもおくさんは、どこに行っちゃうのでしょうか?



つぎつぎと展開される ユニークでナンセンスなお話は さつまいもおくさんのかわいいおしゃべりもあって ほのぼのします。
想像の世界が どんどんひろがって行って 楽しいお話でした。

3年生

「つきのぼんにん」

作)ゾシエシカ 小学館

「つきのぼんにん」とは、お月さまを見守る大切なお仕事のこと。
新しい「つきのぼんにん」に選ばれたシロクマのエミールは、森の生き物たちにとってなくてはならない月の光を守るため、毎晩かかさず月のお世話をしていました。
ところがある日、エミールはおかしなことに気がつきます。
なんとお月さまが、どんどん、細く、うすくなっていくのです！
あの手この手でまん丸に戻そうとするエミールですが、月はどんどん細く、まるで糸のようになっていきます。
はたして、お月さまは元どりのまんまるに戻るのでしょうか。



月の満ち欠けという興味深いテーマを、静かで美しい物語とともに楽しめるお話です。絵もとてもきれいで 動物たちの表情も面白く 素敵なのですが 教室の後ろの人にはわからなかったかと思うと残念でした。

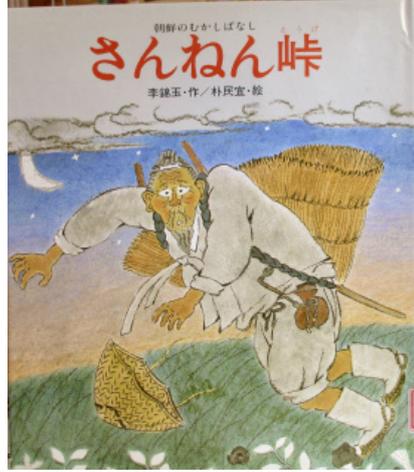
ちょうど今日は お月様が見えなくなる日。
なんていうか知っているか聞いてみたら ひとり手を挙げて「新月!」と 答えてくれました。拍手!!

4年生

「さんねん峠」

作)季錦玉 岩崎書店

ころぶと3年しか生きられないといわれているさんねん峠で、いそいでいたおじいさんが、ころんでしまった! さあ、どうしよう?



韓国の昔話は珍しいかな、とおもって選んだのですが 3年生の教科書に載っているんですね。
でも 教科書には 最後の質問の答えになる1行は 子どもたちに考えてもらおうようにと 省かれていたそうです。



教室に行くと 担任の先生がipadで絵本のページを写真に撮って 電子黒板に映してくれたので 絵も大きく見やすかったと思います。

5年生

「とうもろこしおばあさん」

作)秋野 和子 福音館書店

とうもろこしは、今では世界中に広まっていますが、もともとはインディアンの人たちが大切に守り育ててきた作物でした。

このお話は、インディアンがどうやってとうもろこしを育てるようになったかを伝えています。



この絵本の作者は 美山にも住んでおられた人間国宝の日本画家 秋野不矩さんの息子さん 秋野亥左半さんとその奥さんの和子さんが インディアンに伝わる昔話を絵本にしたものです。

おばあさんが自分の太ももをかくと とうもろこしの粒がぼろぼろあふれる!?

そして その秘密を知った若者は あんなにおいしかったトウモロコシを食べられなかったという場面は かなりシュールで 面白いので笑ってくれるかなと みんなの反応をたのしみにしていたのだけど なぜか シーンとして・・・(苦笑)

もう一冊

「おなみだぼいぼい」

作)ごとうみづき ミシマ社

うまく言えない、泣きたい気持ちに、そっと寄り添うお話です。



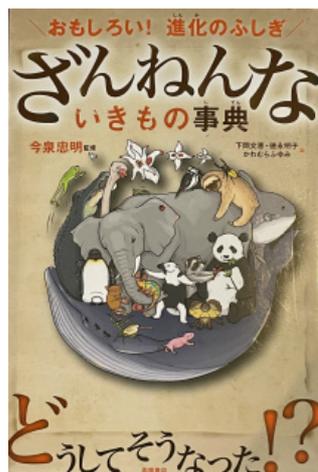
主人公であるねずみの女の子の気持ち 幼い自分を思い返せば 痛いほどよくわかります。
何がつかないか うまく言葉にできないけれど、それでも泣きたいときってありましたよね。
鮮やかな赤、言葉の響き、ぱんのみみのパンチ力、各ページの構図などは斬新だけど 静かに心に染みる絵本です。

6年生

「ざんねんないきもの事典」

作)今泉 忠明 高橋書店

地球には、すごい能力をもつ生き物がたくさんいます。
でも一方で、思わず「どうしてそうなった!？」とつっこみたくなる
「ざんねん」な生き物も存在するのです。
この本では、進化の結果、なぜかちょっとざんねんな感じになってしまった
122種の生き物たちをご紹介します。



子どもたちに大人気のこの本、6年生でも3分の2ぐらいが読んだことがあるようでした。
たくさんの生きものの中から みんなともやりとりしながら8種類紹介しました。

この本は 人間目線での残念なところが書かれているのですが、動物から見た 人間のざんねんなところって なんでしょうね。
そんなことも考えてみると おもしろいかもです。

09:27 | 読み聞かせ

■ 2022/09/12 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

1年生

「ももたろう」

作)いもとようこ 金の星社

近くに住む1年生に会ったとき 「今度 1年生に読み聞かせににするんだけど どんなのがいいかなあ」と聞いてみると、「ももたろう!」と 答えてくれました。

ということで みんなよく知っている「ももたろう」を読みました。
このももたろうのお話は 歌もでてくるので みんなで ももたろうの歌も歌いました。



最近「桃太郎はなぜ この3匹を仲間にしたのか?」という新聞広告がありました。

子どもたちに聞いてみたら「おだんごがほしかったから」とか 口々に言ってくれていましたが 広告には「チームに多様性を取り入れ 化学変化を起こそうとしたのでは・・・」という内容がつづられており 最後に「違うから、人は人を思う」と書かれていました。

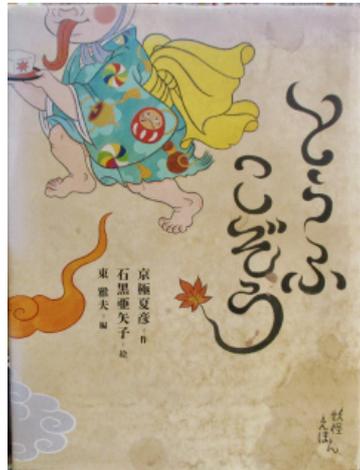
1年生的には「みんなちがって みんないい」ということ かな。

そんなことも 少し話して終わりました。

2年生

「とうふこぞう」

作)京極 夏彦 岩崎書店



おばけは怖い。怖くて眠れない。なにかがふとんに乗った! あれ? 怖くない。「京極夏彦の妖怪えほん」シリーズ5巻の中でもとりわけお茶目で可愛い妖怪が登場します。

みんなに「おばけてこわい?」と聞いてみたら「全然怖くない!」「おばけに会いたい」ですって!

一昨日が 中秋の名月だったので 満月に関係した本を読みたいと思っていました。

この「とうふこぞう」は 満月の夜に現れるそうです。

そして もう一冊は

「たぬきのばけたおつきさま」

作)西本 鶏介 すずき出版

心優しいたぬきの男の子が、大好きなたぬきの女の子のためにしたことは...



タイトルを読んで「たぬきは何に変身するんやろ」と興味津々でした。

伏線として小さく描かれていた 亡くなったお母さんの写真も 後で登場すると「あのページに描いてあった」と ちゃんと見ていてくれました。

こどもたちって 本当によく 絵を見ているですね。

3年生

「きになること」

作)おおなり 修司 絵本館



話を聞かなくちゃいけないってわかっていても、集中しなくちゃと思っても、
なんだか.....気になる。どうしても.....気になる！！

こういうことってあるよね。

笑っちゃうくらい違うところを見ている子たち、いるよね。

仕方がない、それが小学生。

作者が小学生だった頃に「きになっていた」ことを書きました。

誰もが懐かしさを感じる小学校を舞台に、大胆なめくりしかけを使って思いっきり笑わせてくれるのです。



短い絵本なんですけど 自分や孫の体験談交えて こんなことあったよね なにどと話すと みんなも 「そうそう」「わかる」と共感してくれて とっても楽しく読めました。

4年生

「スティーブ・ジョブズ ってどんな人？」

作)Nam Kyongwan 汐文社

養子として育ったジョブズの子供時代から、大人になり挫折や成功を味わうまでを描きます。



ジョブズの名前を知っている子は1人、2人しかいませんでしたが みんなが使ってるiPadやiPhoneなどを考え出した人、ということでぐっと興味がわいたようでした。

絵本ですが 文章がかなり多いので 気ぜひ聞いてほしい部分をとりだして読んでみました。

「忘れないで！人と違う考えかたをもつ勇氣、そして自分が世界を変えられると信じることを！」

「やりたいことを続ける。バカみたいと思われてもいい」
ジョブズだからこそその響く言葉 今 聞いてどう思ったかな？
また 何年かたってから改めて読んでほしいと思いました。

5年生

「おばあさんのしんぶん」

作)松本 春野 講談社

小学5年生だったつおが新聞配達を始めたのは、どうしても新聞が読みたかったから。

「読みにおいで」と言ってくれる、おじいさんとおばあさんがいたから。

今から70年以上も前のこと。戦争が終わって1年が経ち、お父さんを亡くしたつおは、お母さんのふるさと出雲で暮らしています。

毎日お母さんの手伝いもしているつおは、新聞配達もしたいといひます。

お母さんは心配しますが、つおはただ新聞が読みたいからだと言ひはります。

それからつおは毎日、新聞を配達しました。

配達し終わると、みはらのおじいさんの家で新聞を読ませてもらうのです。

やがておじいさんが亡くなり、それでもおばあさんが「読みにおいで」と言ってくれる・・・。



元出雲市長、その後国会議員にもなった岩國哲人さんの実話です。

戦後の みんなが貧しい時代のことは 今の子どもたちにはピンとこないだろうな、と思ったので 最初に時代背景や 大阪から出雲までの距離感などをまず説明しました。



残されたおばあさんが亡くなって ほんとうは字が読めなかったけど つおに読ませるために新聞をとり続けていたことを知ったとき 大人は涙がこみ上げる場面なのですが みんなはどんな感じだったかな。

6年生

「やねうらべやのおばけ」

作)しおたに まみこ 偕成社

もうずっとながいこと、古い家の屋根裏部屋でひとりであらしてきたおばけがいました。

屋根裏部屋の外に出るのは少し怖くて、ほとんど外に出たことはありませんでした。

でもある夜、あんまり月がきれいだったので、夜空を飛んでみました。

すると、次の日から、この家に住む小さな女の子が屋根裏部屋にやってくるようになったのです。

おばけは、せっかく自分一人で居心地が良かった部屋なのに、とごきげんななめです。

女の子がなくなるように、みえなくなってつづいてみたり、紙袋をかぶって飛んでみたり、おばけならではの技であれこれとやってみるのですが.....。



ぶさかわ(?)のおバケがとてかわいいです。
 そしてやっぱり ひとりよりふたり、お友達がいるっていいよね、という あったかストーリーに ほっこりします。

木炭鉛筆で緻密に描かれた絵本です。薄暗い場面が多くて 木炭えんぴつで緻密に描かれた細かいタッチがとっても素敵なのですが 遠目には わかりにくかったかもしれません。

09:30 | 読み聞かせ

2022/09/05 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

2学期最初の読み聞かせです。

読み聞かせボランティアの方も 久しぶりの学校での読み聞かせを楽しみにしてくれていたようで 皆さんいつにもましてにこにこ 図書室に集まってくれました。

1年生

「コッケモーモー」

作)ジュリエット・ダラス・コンテ 徳間書店

困ったことになりました。オンドリが鳴き方を忘れてしまったのです。
 「コッケモーモー！」「コッケブーブー！」
 仲間から心配されたり、バカにされたり、すっかりしょげてしまいます。
 そんなある晩、メンドリ小屋を狙うキツネに気がついたオンドリは...？



明るくカラフルな絵と おかしな鳴き声をめぐる展開に 1年生のみんなは 声をだして笑ったり 口々に感想を言ってくれたので いろんなやりとりができて とても楽しく読めました。

2年生

「ふーってして」

作)松田 奈那子 KADOKAWA

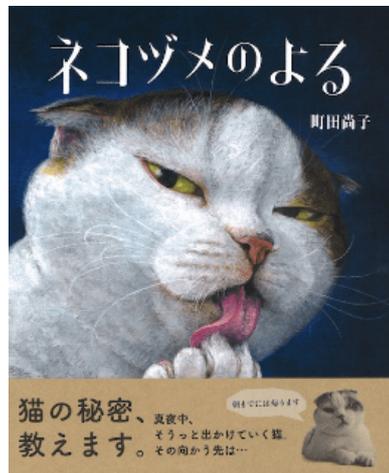
真っ白な紙に色水ぼとり。「ねえ ふーってして」
 そうすると、どうなるの？ ページをめくると.....あっ、たいよう。
 次はみどりをぼたぼた、ふーっとすると、草がはえてきたよ。
 不思議、不思議、おもしろい！



紙にたらした色水をストローや口を使ってふーっと生きを吹きかけるのです。
 そうすると、色水がよくのびて線を描き出すのです。
 なんだ簡単。簡単だけど、けっこうすごい。
 思ったよりもずっと素敵で 驚きの絵が生まれます。
 なんだか色が生きてるみたいですね。
 この絵本を見ると すぐにでも やってみたいくなりますよ。

「ねこづめのよる」

作)町田 尚子 岩崎書店



人間の知らない、ネコたちの特別な夜が幻想的に描かれています。
 町中のあちこちから集まってきたネコたちが、夜空を見上げ、あるものを待ちます。
 何を待ってどンドンネコたちが集まってくるのだろうか？

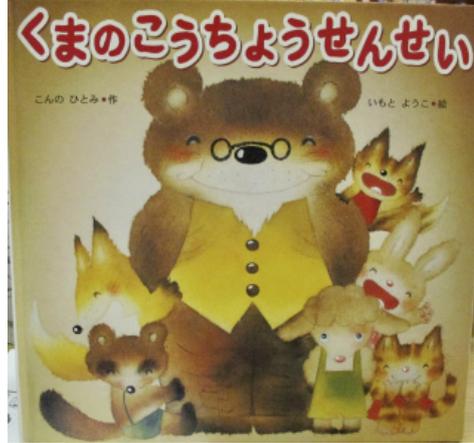
猫好きの町田さんの書く猫が なんとリアルで引き込まれてしまいます。

3年生

「くまのこうちょうせんせい」

作)こんの ひとみ 金の星社

くまの校長先生は、毎朝元気に「おはよう！」と子どもたちを迎えてくれます。
 いつも声が小さいひつじくんに、くまの校長先生は勇気を出して大きな声を出すようにアドバイスしますが ひつじくんに
 にとって 大きな声は お父さんとお母さんのけんかの声や お母さんがひつじくを叱るときの声など 悲しくさせることば
 かりだったのです。
 ある日、くまの校長先生は、病気で入院することになり、その後大きな声が出なくなっていました。
 お医者さんや看護師さんは校長先生の小さな声にじっと耳をすましてくれていることから、わかったことがありました。
 大きな声を出そうとしても、出せないときがあるのだと。



これは実話をもとにしたおはなしです。

末期ガンと宣告されながら 弱り行く自分の姿を子どもたちにありのままに見せ、命の尊さ、生きる意味を教え続けた神奈川県茅ヶ崎市の浜之郷小学校の大瀬敏昭校長。

この姿は『命の授業』と呼ばれ、その授業の様子や、学校を変えて行く姿はテレビや新聞、雑誌などで紹介されました。しかし残念ながら大瀬先生はその後亡くなりました。

大瀬先生と交流のあったシンガーソングライター・こんのひとみさんが、大瀬先生の思いを物語りにして、いもようさんのイラストで絵本化しました。

みんな真剣な様子で じーっと聞いてくれていました。

4年生

「花さき山」

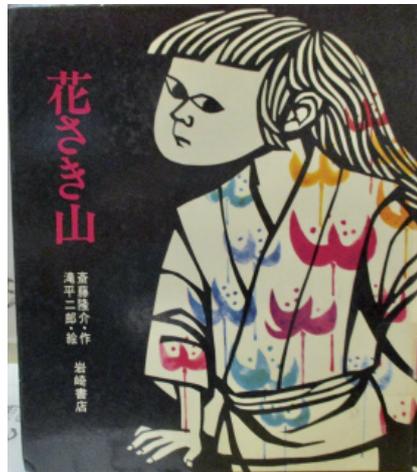
作)斎藤 隆介 岩崎書店

山菜をとりについて、山んばに会ったあや。

やさしいことをすると美しい花がひとつ咲くという花さき山の感動のものがたり。

心にのこる名作絵本です。

以前は教科書に載っていたお話ですが 最近は載っていないので この本を読んだことがある人を聞くと一人しかいませんでした。



道端に咲いている花や 青空にそびえる山をみて 花を咲かせ、山を盛り上げる力は何だろうと思う・・・その答えが「花さき山」だ・・・

という内容のあとがきがあります。

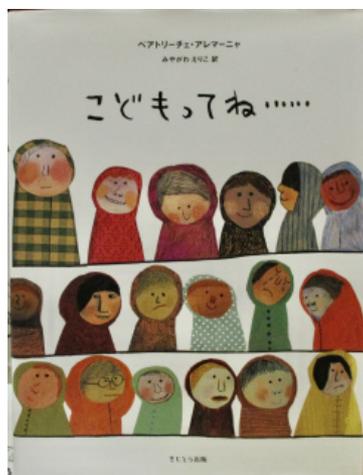
作者の斎藤隆介さんが「花さき山」に添えて・・・と 書かれてたもので、これがとても好きなので あとがきの内容も少し話をしました。

5年生

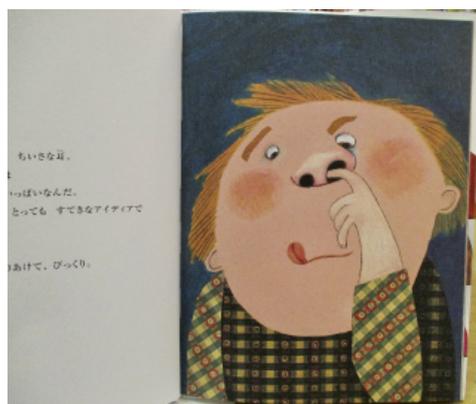
「こどもってね」

作)バートリーチェ・アレマーニャ

きじとら出版



こどもってね、ちいさなひと。でも、ちいさいのはすこしのあいだ。いつのまにかしらないうちに おおきくなる。こどもってなんだろう？ そんな哲学的な問いが続きます。様々なシーンの子どもたちが勢いのあるタッチで大胆に描かれ、子どもの感性がしなやかな言葉でつづられます。



子ども時代を めいっぱい楽しんで 健やかに育ってほしいと思える絵本です。

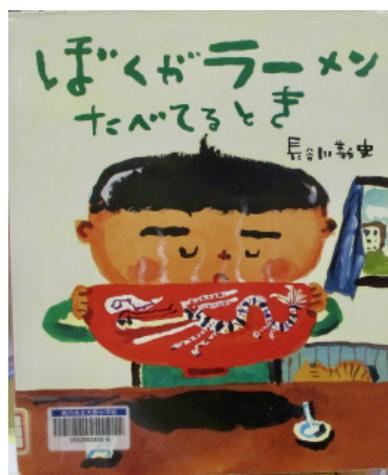
6年生

「ぼくがラーメンたべてるとき」

作)長谷川 義史 教育画劇

ぼくがラーメンたべてるとき、地球の裏側ではなにがおこってる？

ぼくがおやつを食べてるとき、世界の子はなにしている？遊んでる、働いてる、倒れてる・・・長谷川義史が世界の子たちへ平和への願いをこめました。



今年は この絵本を どの学年でも読んでいます。

平和な日常で過ごす私たちのと同じ世界では ロシアとウクライナの戦争がまだ続いています。自分と同じ年頃のウクライナのこどもたちの姿を想像してみたいと思います。

そして 過去には 日本でも戦争があったということも 忘れずにいてほしいのです。

8月6日は何の日か知っているか聞いてみると「原爆がおとされた日」という声が聞こえました。

しかし それも遠い昔の歴史上の出来事のようにとらえがちです。

広島で行われた 平和祈念式典では 同じ6年生が すばらしい「平和への誓い」をしてきていたので 紹介しました。



09:26 | 読み聞かせ

2022/07/11 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

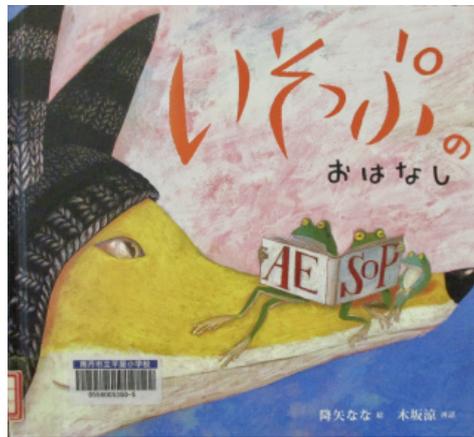
| by 美山小

1年生

「いそっぷのおはなし」

再話)木坂 涼

グランママ社



「よくばらないぬ」「きこりとおの」「うさぎとかめ」「ありときりぎりす」など、イソップの人気作品を1話2見開きにダイナミックな構図と技法で描きます。

木坂涼さんの軽やかな語りと、スクラッチ画法を絵本制作で初めて取り入れた降矢ななさんの絵が見る人をひきつけます。



とっても素敵な絵本なのですが、イソップらしいお話のオチが あまりピンとこないものもあったようです。

大人にとっては おなじみのお話なのですが イソップのお話を知らない1年生には シンプルにしすぎて 意味がわかってもらえないものもあったかな と思いました。

2年生

「ウラパン・オコサ」

作)谷川 晃一

童心社



1はウラパン 2はオコサ。

描かれた動物の数を 1(ウラパン)と2(オコサ)だけで数える二進法ですが、そんな難しいことはさておいて 「ウラパン」「オコサ」「ウラパン・ウラパン」と 数を数えて みんなで声を合わせて 楽しんでくれていました。

「しんでくれた」

作)谷川 俊太郎 校成出版社

「しんでくれた」。このドキッとするタイトルの絵本は、谷川俊太郎さんの詩から生まれた作品です。

うし しんでくれた ぼくのために
そいではんぱ一ぐになった
ありがとう うし

これは死に対してただ悲しんだり切ない気持ちになったりする、という内容のものではありません。

生き物は生き物を食べてなければ生きてはいけない。人間は他の生き物のおかげで生きている。

「いただきます」という感謝の気持ちが生まれる詩なのです。

心に深くとどく言葉と、力強い絵で「命をいただく」ことの意味を伝えます。



表紙をみただけで「あ、どういことかわかったわ」という声が聞こえました。
2年生にしてはすごい!! ちょっとびっくりしました。

3年生

「かたつむり」

七尾 淳 偕成社

今年の梅雨は あっという間に終わってしまったけど カタツムリの季節ですよ。

でも 最近 はあんまり見かけなくなったような気がします。



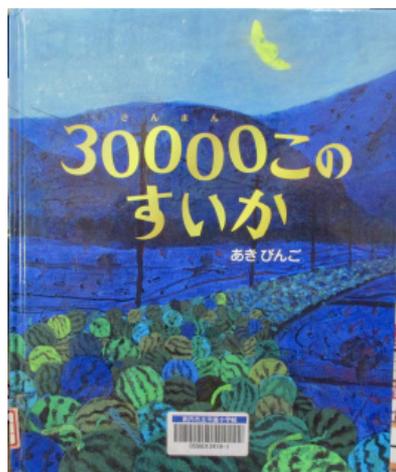
この本は とても古い本ですが カタツムリの生態が くわしく わかりやすく書かれています。カタツムリには足がいっぱいある、とか 雌雄同体だとか びっくりすることがいっぱいです。みんなも 身近な生き物だからでしょうか、しっかり聞いてくれていました。

4年生

「30000このすいか」

作)あき びんご くもん出版

すいか畑に、すいかが30000こもありました。
ある日「もう食べ頃だね」とカラスが話しているのを聞いたすいかたちは、「食べられるなんて御免」と、夜中に脱走。山道をごーろごーろと転がり、新天地を目指します。
生まれて初めての海や沈む夕日を見て、すいかたちは畑では味わえなかった感動を覚えます。
次の日、はりきって転がるすいかたちの目前に、突如現れた崖！
すいかたちはなすすべもなく落ちていき、ぱっかーん、ぱっかーんと音をたてて割れ、果肉が花火のように飛び散りました。
あとには、大きなすいかの池ができました。ところが…。



最初から最後まで びっくりする展開が続きます。
しっかりとした絵はインパクトあるし ユーモアたっぷりのお話にも みんなの反応が気になるところですが 本日 読み聞かせデビューでしたので 読むのに一生懸命で 反応を確かめる余裕はありませんでした・・・(笑)

5年生

「きょうはなんのひ？」

作)瀬田 貞二 福音館書店



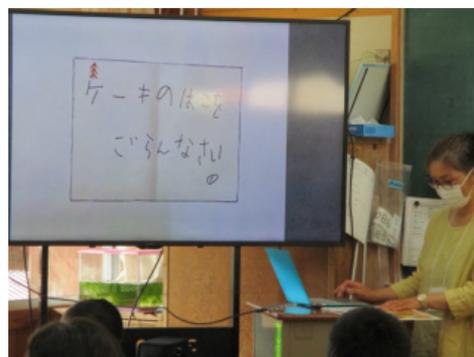
朝、学校に行くまみこはおかあさんに、「きょうはなんのひだか、してるの?.....しらなきゃかいだん三だんめ」と謎のことばを残して玄関をでていきました。

おかあさんが階段を見ると、そこには赤いひもで結ばれた手紙がありました。

手紙には「ケーキのはこをごらん下さい」と書いてありました。

箱の中にはまた手紙.....。次々と手紙を見つけていったお母さんが最後に見つけたものは?

親と子の間に流れる温かい心づかいを描いています。



音楽付きで 電子黒板に映して読みました。

まみこの字で書かれた小さな手紙は 大きく映すことで 小さな子が一生懸命考えて書いたものだということなど 伝わった人もいかな。

謎解きのようなお話なので みんなも、いつもより お話や画面に集中していたように思います。

6年生

「おっきよちゃんとかっぱ」

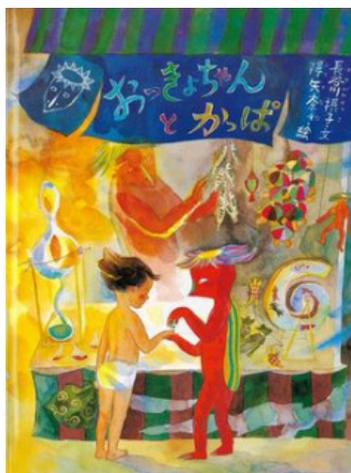
作)長谷川 摂子 福音館書店

おっきよちゃんが川で遊んでいると、カッパの子どもに水底のお祭に誘われました。

おっきよちゃんは、キュウリをおみやげにもっていったので大歓迎され、お餅をもらって食べると、水の外のことを全部忘れてしまいました。

カッパの家の子どもになって楽しく暮らしていましたが、ある時、人形が流れてくるのを見つけて、急に家を思いだし帰りたくなりました。

はたして人間の世界に戻る方法は.....。



ちょっと気味の悪い感じのするカッパですが、カッパを怖がる素振りすら見せず、飄々とカッパの世界に飛び込んでいくたくましいおっきよちゃん。

ページをめくるたびに 水の中の美しさに おっきよちゃんだけでなく 心躍ります。

そして 人間界にもどされる方法が もう びっくり仰天。わらっちゃいます。

とっても 愉快で 心躍るお話です。

2022/07/04 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

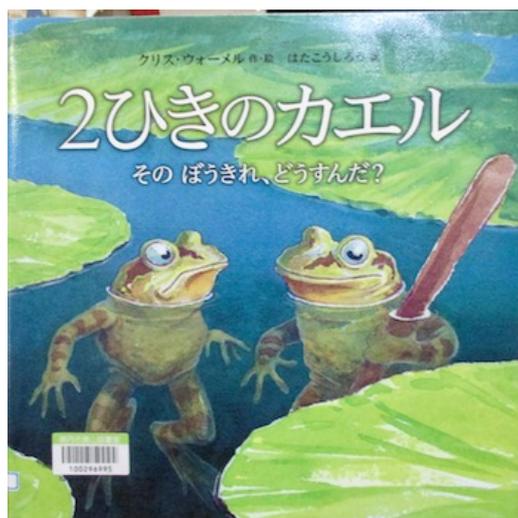
| by 美山小

1年生

「2ひきのカエル」

作)クリス・ウォーメル 徳間書店

大きな池のまんなかの、スイレンの葉の上に、2ひきのカエルがいた。
かたほうのカエルはぼうきれを持っている。
「なんで、そんなぼうきれを持つてるのさ？」
「これは犬よけぼうだ。犬がきたら、こいつでバンバンってやっつけるのさ」
池に犬?・・・



備えあれば憂いなし、というお話なのですが 2匹のカエルの掛け合いが なんとも面白く そのくせ 絵は結構リアルで ちょっと不気味。

大きくはっきりした絵なので 後ろの子でも 見やすかったのではないかと思います。

お話の最後は わりと大人っぽいオチの終わり方なのですが、奥付のページに小さく描かれた絵まで ちゃんと見てくれていた子もいて オチを言ってくれたので みんなにも わかったと思います。

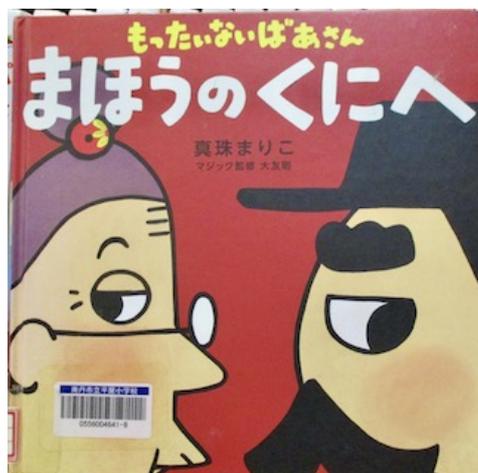
やっぱり 子どもたちは 絵本の絵をしっかり見ているのですね。

2年生

「もったいないばあさん まほうのくにへ」

作)真珠 まりこ 講談社

もったいないばあさんがやってきたまほうのくにには じゅもんをとなえると、なんでもあつという間に早変わり。
捨てられるものがなくて、もったいないこともないみたい。



新聞紙がトイレトペーパーに代わるのは 「あー」と納得していた様子でしたが ペットボトルがいきなり服に変わったのには「あれ?」って 不思議そうでした。

空き缶が 新幹線にかわるとこは 「そんなんでできるかな」と ポソッとつぶやいていた子がいました。

確かに いきなり新幹線とか びっくりしますが リサイクルの細かい工程を説明するのは2年生には難しいので 私たち

3年生

「おおきなきがほしい」

作)さとう さとる 偕成社

りすや小鳥が住み、見晴台がついている大きな木に登ってみたいとねがう、子どもの夢を描きます。



今から50年近くも前に出版されて 傑作絵本として読み継がれています。

子どものころ 誰でも一度は 自分のツリーハウスを想像してみたのではないかと思います。

人はどうしてこんなにも「おおきな木」に惹かれるのでしょうか。

木の幹の部分から丁寧に はじまる説明と共に縦開きとなり、上へ上へと読み進めていく感覚はまるで一緒に木に登っている様です。

文章が少し長く 文字が小さいので 低学年の子が自分で読むのにはちょっと難しく なかなか手に取ってもらえることの少ない本なので 読み聞かせがよいのかもかもしれません。

4年生

「かめまんねん」

作)ほんま わか 文研出版

つるは千年、かめは万年といいますが、本当にかめは長生きで、そのためか何をすることも、ゆっくり、じっくりやりました。

そこへいつも忙しくしているいぬやねこたちから頼みごとが。

どこまでも呑気なかめは、山ほどの頼まれごとにも「かめへん、かめへん。」

最後に、お詫びの品に埋もれたかめは、「こんな硬い食べものは噛めないのでは？」との問いかけに・・・



「つるは千年、かめは万年」ってことわざ 知ってる？ と 聞くと 半分くらいが 聞いたことあるようでした。「中国からきたことわざや」と 言う子もいて ヘエ～ よく知っているなあ と感心しました。

関西弁と そのことわざを使った 言葉遊びで ストーリーは進みます。

ととても面白いはずなのに じーっと真顔で聞いていました(汗)

関西弁と一口に言っても「かめへん」は大阪で 京都では「かまへん」っていうから あまりピンとこなかったのか・・・最後の「かめまんねん」も「亀万年」と「噛めまんねん」がかかっていることに 気が付いてくれたでしょうか？

5年生

「くじらのだいすけ」

作)天野 祐吉

福音館書店

先週4年生で読んだ絵本、絵本をスライドショーで電子黒板に映せるようにして 楽しんでもらえたので 5年生でも読みました。

6年生

「まわるおすし」

作)長谷川 義史

ブロンズ新社

今日はお父さんの給料日。家族みんなでお寿司を食べる。
店の前で輪になって、お父さんのゲキに合わせて「ファイト オー！」
お父さんがひじに手をやったら、青いお皿のサイン。
まわるお寿司から目を離さないように、次は黒いお皿へ。
クライマックスのお皿の色は、もちろん自由。さあ、何を食べる？



回転ずし みんな大好きですよねえ。
実体験と重なるところもあるようで 6年生に大受けでした。
うにを取ろうとする場面では「300円すんねんで」と誰かの声(笑)
絵に出てくる 回転ずしの魚を 「あれはまぐるや」「はまち」「アナゴ」などと言いつけていました。
「来月もまた来るぞ」のセリフに「1か月に1回かぁ」と 残念そうでした。
楽しく読めました。

09:45 | 読み聞かせ

■ 2022/06/27 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

1年生

「おいしいおやつをくださいな」

作)大塚 たえこ

福音館書店

あひるが、やぎ、ぶた、うしに会って、みんなでおいしいおやつを探しにいきます。
ふんわりしてて、甘くて、丸くて、おいしいおやつ！
さてどこにあるのでしょうか。
町に行って入ったお店は、金物屋さん、粉屋さん、乾物屋さん、たまご屋さん。
どこにもありません。
でも、最後になんと「おいしいおやつやさん」がありました。
みんなでたっぷりご馳走になって、大満足……。



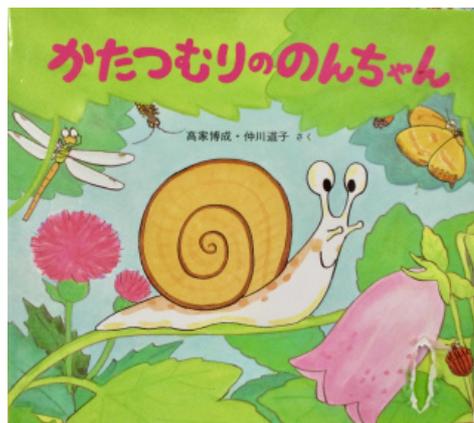
絵もはっきりしていて かわいいので みんな最初から大注目。
ふんわりして あまくて まるくて おいしいおやつは何だろう？
「ドーナツ」とか「クレープ」とか いろいろ考えててくれていました。
「かなものや」とか「かんぶつや」やとか 1年生にはなじみのないお店が出てきますが わかったかな？
ほっこりと 楽しいお話でした。

2年生

「かたつむりののんちゃん」

作)高家 博成 童心社

ポツン、ポツン、雨が大好きなのんちゃんはお散歩に出かけます…。
人気のカタツムリが大活躍！



小さな子ども向けの絵本のようなのですが、カタツムリの生態について詳しく書かれています。
みんなもカタツムリについては よく知っているようでしたが 今年も 6月の梅雨の時期だということに お天氣の良い暑い日が続いて カタツムリはまだ見ていないって 言っていました。
楽しく 聞いてもらえたようです。

3年生

「ケロリがケロリ」

作)いとう ひろし ポプラ社

ケロリは、しっぽがじまんのおたまじゃくし。
ところが、ある日、そのしっぽがなくなりました。
もう、だれにもあいたくありません・・・



大きく はっきりとした絵なので 見やすかったと思います。

「しりとりのかにのおうさま」

作)こすぎ さなえ PHP出版

あるところに、しりとりのかにがありました。

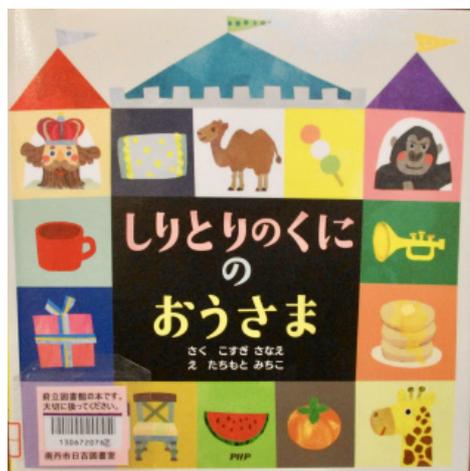
このかには、なにかもかがしりとの順番になっています。

めだまやき→きゅうり→りんごじゅーす→すいか→かれーばん。

おうさまの朝ごはんもこのように運ばれてきて、最後はみんな『ん』で終わります。

ある日、しりとりのかにに、隣のかにのおうさまが助けを求めにやってきました。おひめさまが、しりとりやまのドラゴンとしりとり勝負をすることになるのですが、なんと、相手のドラゴンは『ん』のつくしりとりしか出さないのです。

そこで反撃のために……!?



みんなしりとり大好きですよ。

お話にそって 一緒にしりとりを考えてくれて とっても 盛り上がりました。

最後の「す」ではじまり「ん」で終わるものは すごく意外な答えだったので みんな「えーっ」って 笑っていました。ととても うまいオチです。

4年生

「くじらのだいすけ」

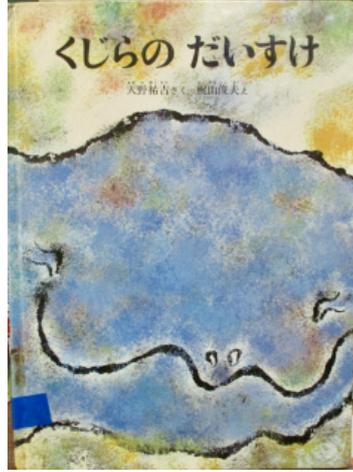
作)天野 祐吉 福音館書店

昔、クジラがまだ山にいたころ、クジラのだいすけは、歩くとみんなの迷惑になるので、何十年もじっとすわっていました。

夏祭りになると、山の仲間の動物はだいすけに見えるようにと、その顔の前にやぐらを組みましたが、ちょうどその時、だいすけはくしゃみをして、みんな吹き飛ばしてしまいました。

恥じ入ってどこかにいってしまいたくなっただいすけは、カラスに連れられて、海にいきますが……。

梶山俊夫が絵を描いた最初の絵本です。



わかりやすい昔話のようなお話ですが お互いを思う気持ちや 自分らしく生きることの大切さなどを描いています。50年ほど前に作られた絵本ですが 今読んでも しっかりと感じるような気がします。

電子黒板に映して読んだので みんなじっと注目して しっかりと聞いてくれていたと思います。

5年生

紙芝居「たのきゅう」

作)渋谷 勲 童心社

旅役者のたのきゅうが峠で出あったじいさまは、うわぼみの化物でした。たのきゅうをたぬきとまちがえて、化物は化けてみると…。



落語の「田能久」のお話を 紙芝居にしたものです。

有名な「まんじゅうこわい」のように このお話も 世の中で一番怖いのは 大判小判、といって うわぼみをだます、というオチなのですが 相手はうわぼみなので もっと 緊張感があって面白いかな。

ちょうど 5年生は中学校で寄席体験をしていたので 落語の面白さもわかってきていたかな、と 思います。

6年生

「あたまにつまった石ころが」

作)キャロル・オーティス・ハート 光村教育図書

切手にコイン、ジュースのビンのふた。みなさんも集めたことありませんか？ わたしの父は石を集めていました。

「石ころじゃあ、金にならんぞ」まわりの人はいいました。ところが…。

作者が娘の目から父の生涯を振り返る、実話にもとづくアメリカのお話です。



まわりに何を言われても、どんな境遇であっても、好きなことを手放さない。かたくなに守り通すのではなくて、いつも自然と、頭もポケットも好きなもので埋まってしまおう。

科学博物館に通うようになった彼の、巻末にさらりと書かれた驚きの後日談までが、ひとつの物語。

娘である作者の最後の一言が、深く胸に響きます。
まわりに理解されずとも夢中なものがある人にとって、この言葉は、大きな心の糧となることでしょう。
子どもにはもちろん、私たち大人にとっても。

静かに聞いてくれていました。

09:41 | 読み聞かせ

2022/06/23 ■ 先生の好きだった本は？

| by 美山小

小学生のころ 先生は どんな本を読んでいたのかな？

先生方にアンケートをとって クイズ形式にして 掲示しました。



最初は それぞれの先生の好きそうな本を想像して 先生と当てはめるだけの ほとんど直感で解答してもらおうと思ったのですが、先生方には その本が好きなの理由も尋ねいたので それをヒントにしてみました。



さっそく クイズに挑戦してくれていました。



吹き出しには わかりやすく本の内容などにふれいている セリフもあるのですが、絵が好き、とか 感動した、という 当てはまる本が複数あるようなセリフもあります。

適当に当てはめる人も多いだろうと 思っていたら みんな ヒントのセリフから真剣に考えて「うーん むずかしい」と悩んでいました。

14:14 | 掲示物

2022/06/20 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

1年生

「こぐまのともだちはどこ？」

作) ペトル・ホラチェック

あすなろ書店

ひとりぼっちはつまらない。こぐまは友だちをさがしに行くことにしました。
だけど、「友だち」っていったいどこにいるのかな...?
のんびり、かつ真剣にともだちをさがすくろくまくとちゃくまくんがなんとも微笑ましい!



こんな出会いで友達になれることもあったり、いつの間にか 友達になっていた、というお話は 1年生にぴったりかなあ、と 思って選びました。

くまさんつながりで 梅雨の季節に、ということで

「あめふりくまのこ」

詩) 鶴見 正夫

ひさかたチャイルド

みんなもよく知っている歌だと思います。
半分くらいの子が知っているようでした。
この絵本のくまさんが とってもかわいいので 絵本を見てもらいながら みんなで歌を歌いました。



終わってから「歌は知らなかったけど 一緒に歌えた」と 言ってくれた子もいたので よかったです。

2年生

「ほげちゃん」

作) やぎ たみこ

偕成社

ぬいぐるみのほげちゃんは、小さなゆうちゃんといつも一緒なので汚れ放題。
そのせいでおでかけの日にも置いてけぼりになり、もうカンカン!



2年生は 絵本を読み始めると 見やすい場所に椅子ごと移動させて ちょっと寄ってきてくれました。それだけのことですが 読み聞かせを楽しみにしてくれているのだなあ、と うれしく 張り切って読もう!という気持ちになりました。

絵本の裏表紙に ほげちゃんの作り方がのっています。これを見て ほげちゃんのぬいぐるみを作って 読み聞かせできたいなあ・・・と いつも思いながら 作れています。

3年生

「いやです、だめです、いきません」

作) 清永 奈穂 岩崎書店

「あぶない人」「あぶない場所」って、どんなこと？
もし、あぶないめにあったらどうしたらいい？
子どもが自分で自分の身を守るために学ぶ安全教育の絵本です。
巻末の親向け解説では、逃げたり、さげんだりする練習方法も紹介しています。



表紙を見せて「どんな絵本だと思う?」って聞いてみました。
みんな 顔が??? でした。

安全教育のお話ですが こどもたちにわかりやすく 具体的に今の時代にあった例を挙げて書かれているので みんなも先生も真剣に聞いてくれてるのがわかりました。

4年生

「あめの日のトランペット」

作) 安房 直子 金の星社

野原の真ん中の一本の樹の下に「ふしぎや」と看板をだした家がありました。
そこは、くまが楽器を売っているお店でした。
雨のふり続くある日、男の子が訪ねてトランペットを手にとると、ふしぎなことが.....。



静かなかわいらしいお話なので ちょっとでも注目してもらおうと トランペットをもらう代わりに 梅の実を三つ渡す、
 というところで ホントの梅の実を「ひとつ、ふたつ、みっつ」と ポケットから出してみました。
 大きな事件はおこりませんが 降り続く雨が去っていく場面は とてもすてきな葉祥明さんの絵もあって なんとも晴れや
 かな気持ちになります。



途中 子どもたちの視線が急に別方向を向いたので みんなおもしろくなかった!? と 焦りましたが 淡い絵で 見えに
 くいと思ってか 先生が教室の後ろからタブレットで電子黒板に映してくれていました。

5年生

「1つぶのおこめ」

作) デミ 光村教育図書

けちな王様をこらしめよう！ 算数のひらめきで村を救った女の子のお話。
 1つぶ、2つぶ、4つぶ、8つぶ……。30日目には、何つぶ？
 インドの昔話を細密画風に描いた楽しい絵本。



絵も昔風で細かくて 最初は あまり興味がなさそうな子もいましたが どんどん増えていくお米の数に みんなもだんだ
 ん興奮してきました。
 最後の左右に広がる大パノラマのイラストは、圧巻！
 わぁ〜! という声があがり 大興奮。
 この絵本を読むと 大人も子どもも みんな びっくりしてくれるのが楽しみです。
 こういう絵本をきっかけに 算数が苦手だなあと 思っているも 日常にある算数の面白さに目を向けてくれたらうれしい
 です。

6年生

「みずたまレンズ」

作) 今森 光彦 福音館書店

朝露や雨にぬれた花や葉っぱには、キラキラ光る丸いみずたまがついています。
そこにはさまざまなものが映っています。虫になった気持ちでみずたまを見てみよう。



少し前 南丹市で開催された今森光彦さんの講演会に行ってきたので 今森さんをみんなにも紹介しました。
雨の季節なので みんなも みずたまレンズを見つけて 観察してみてください。

これは 写真家の今森さんによる 写真絵本ですが、今森さんは 切り紙作家でもあります。

「丘のうえのいっぽんの木に」

作) 今森 光彦 童心社

1本のエノキがありました。
春、目を覚ましたオオムラサキの幼虫は、エノキの幹をのぼりはじめました。
エノキは鳥や昆虫、カエルなど、様々な生き物の拠り所。豊かな里山の生き物たちの姿を“切り紙”で描きます。



黒単色の切り絵なので 図鑑の写真でオオムラサキの成虫と幼虫を 見てもらいました。

写真でも 切り紙でも 自然の営みを大切に思う今森さんの気持ちが伝わる絵本です。
また じっくり見てください。

09:18 | 読み聞かせ

2022/06/13 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

1年生

「弾きがえる」

作) 久留島 武彦 子どもの未来社

音楽の大すきな三きょうだいがバイオリンを弾いていると、音楽の大すきなかえるが池から出てきて、たのみました。
「うちに来てバイオリンを弾いてください」さてさて、どうなることでしょう……。



三人兄弟の兄たちはカエルを馬鹿にし 末っ子はカエルの気持ちがわかって・・・という昔話によくあるパターンですが 子どもたちに身近なカエルが登場するし、今の季節にもぴったりだと思い読みました。

作者の久留島さんは明治・大正・昭和にわたって「信じあうこと」「助け合うこと」「違いを認めること」などの教えを語り聞かせた教育者で 「日本のアンデルセン」と言われた人だそうです。このお話は120年以上昔に書かれた作品ですが、今読んででも古さを感じさせません。

みんな静かに聞いてくれていたけど 1年生にはちょっと長いお話だったかなあ・・・。

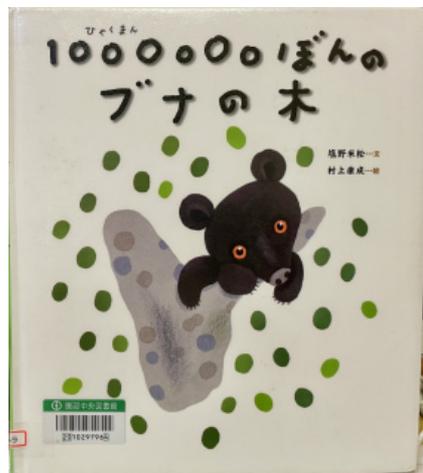
2年生

「1000000ぼんのぶなの木」

作) 塩野 米松 ひかりのくに

1000000本のブナの木やまに、人間の子どもが忘れていった一枚のパンダナが落ちていました。森に冬が来て、そして春が...

図書コーナーのテーマになっている村上康成さんの絵です。登場する動物たちも 図書コーナーのあちこちにいますよ。



面白い、とか 不思議なお話とかではないのですが お話に合わせて音楽が生演奏で流れていて 電子黒板で絵も見やすかったので ちょっとわくわくしながら聞いてくれていたようでした。ゆったりとしたキーボードの音楽にのせて 森の季節が移り変わっていきます。電子黒板に大きく映る絵を みんなじーっとみつめて 絵本の世界にはいつてくれていました。

3年生

紙芝居「おやゆびひめ」

作) アンデルセン 童心社

こどもがほしいと魔法つかいにたのんだ女の人に、親指ほどの大きさのかわいい女の子がさずかりました。花の中から生まれた親指ほどの大きさのおやゆびひめ。かえるにさらわれたり、ケガをしたつばめを助けたりして旅を続け、最後は王子様とめでたく結ばれて幸せに暮らします。



誰もが知っているお話だと思っていたのですが、知っている人を聞いてみたら 数人でした。

おやゆびひめの誕生から結婚まで どんどん話が進んでいくので 面白く聞いてもらえたのではないかと思います。

4年生

「へいわってすてきだね」

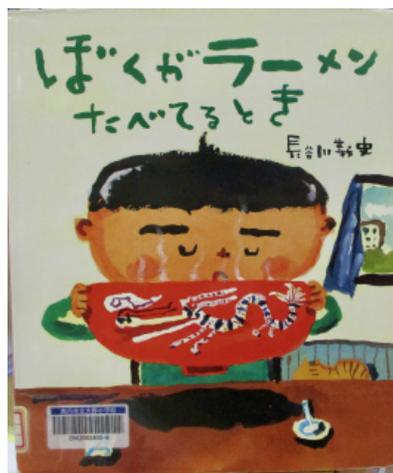
作) 安里 有生 ブロンズ新社



2013年の6月23日 沖縄「慰霊の日」の沖縄全戦没者追悼式で朗読された「平和のメッセージ」です。
日本の一番西にある小学校、沖縄県与那国町立久部良（くぶら）小学校1年の安里有生（あさとゆうき）くん（6歳）が書いた詩に 長谷川 義史さんが絵を添えました。

「ぼくがラーメンたべてるとき」

作) 長谷川 義史 教育画劇



ぼくがラーメンたべてるとき、地球の裏側でなにがおこってる？
世界の子はなにしてる？
遊んでる、働いてる、倒れてる...。
長谷川義史が世界の子たちへ平和への願いをこめた絵本です。

平和を願う今だからこそ 読んでほしい絵本なので 5年生、3年生に引き続き読みました。

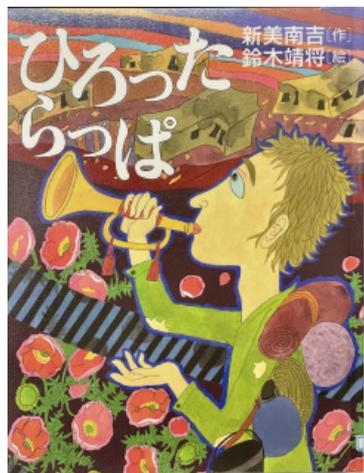
5年生

「ひろったらっぱ」

作) 新見 南吉 新樹社

戦争で手柄を立てようと出掛けた男が、途中で戦争のために田畑を荒らされた村人の姿を見て、戦争に行くのは止めて、復興の手助けをする…。

新美南吉が言論弾圧の強まる暗い時代に抗して 1935年（昭和10年）大学の4年生の時に書かれた書いた絵本です。



新見南吉さんの絵本を読みます、といったら わあっと喜び(?)の声が上がりました。
ごんぎつねを国語でならうので 新見南吉さんのことをみんなよく知っていたからでしょうね。

今もまだ戦争が続いていますが このお話の人のように はやく戦争をやめてほしいものです。

6年生

「きつねのテスト」

作) 小沢 正 ビリケン出版

全問正解すると、誰も見たことのない、素敵な女の子に変身できるのです。
あなたも、きつねのテストを受けてみませんか？



きつねの出すへんてこなテストと不思議な雰囲気は なかなか面白いのですが 6年生ともなると みんな黙って静かすぎるほどに聞いてくれています。

ほんとは

「すきなひと」

作) 桜庭 一樹 岩崎書店



絵も幻想的で美しく 受け取り方が人それぞれの この絵本を読もうと思っていたのですが あまりにも不思議な世界観なので もう少し大人になってからのほうがいいのかぁ・・・と思いやめました。

図書室においておくので興味のある人は読んでね、と 作者の絵本に込めた思い
「絵本なら、厚さ5ミリの紙の束に、「世界のすべて」を魔法のように閉じこめることができる。
そう信じ、わたしなりの大河口マンを323個の文字に圧縮しました。
そして嶽まいごさんの絵に託しました。
いま、気分爽快です。」を紹介しました。

コロナ渦ということで みんな机に向かって椅子に座り 距離をとっているのよけいにこどもたちの反応が少なくわかりにくく 残念です。
以前のように 絵本のそばにみんなが寄って 和気あいあいと読める日が戻ってくることを願っています。

09:35 | 読み聞かせ

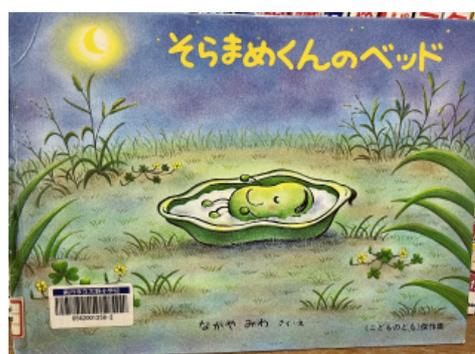
2022/06/06 | 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

1年生

「そらまめくんのベッド」

作) なかや みわ 福音館書店



そらまめくんの宝物はふわふわのベッド。だからだれにも貸してあげません。
ところが、そのベッドが突然なくなってしまったのです.....
愉快なそらまめくんの楽しいお話。

今日は 実物のソラマメと 登場するおまめさんたちを持ってきて 見てもらいました。
みんな 豆を見せると 「枝豆や」「ピーナッツ」「スナップエンドウ」と ちゃんと知っていました。



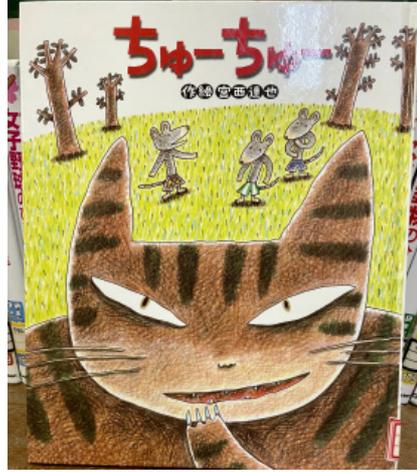
よく知っている絵本でしたが みんな静かに聞いてくれていました。

おまけ、ですが ちょうど6月6日の雨の日だったので 「かわいいコックさん」の絵かき歌を歌って書きました。
(棒が一本あったとき、から始まって 6月6日の雨ザーザー降ってきて・・・と 続きます)
一緒に歌ってもらったけど 1年生は誰も知らなかったようです。

2年生

「ちゅーちゅー」

作) 宮西 達也 鈴木出版



5月に読んでもらった「にゃーご」の続編です。

「にゃーご」は猫を知らないネズミのお話でしたが、今回はネズミを知らない猫のお話です。このお話だけでも楽しいのですが、「にゃーご」を知っていると、より楽しめます。

面白いところでは、ツッコミの声もあり、盛り上がって感動的な場面では、シーンと集中して聞いてくれていたようでした。

大型絵本だったので、絵もよくわかってよかったです。

3年生

紙芝居「うみにしずんだおに」

作) 松谷 みよ子 童心社

四国の高知県にある、大きい岩と小さな岩が並んでいる小さな島の伝説のお話。



大昔、土佐地方に嵐で大波が押し寄せたとき、大岩を海に沈めて村を救った大鬼。

大鬼が沈めたこの岩は実際に双名島（ふたなじま）と呼ばれ、金棒に突き刺したという穴が一つづつ開いているそうです。そのすぐそばに泣き続けて岩になった子鬼の岩も烏帽子岩と呼ばれて残っており、今も荒波から久礼の浜を守っているそうです。

面白いところでは笑って、大鬼が果敢に海に入っていく場面では真剣な面持ちで、反応よく聞いてくれていたようでした。

4年生

「コウノトリとお兄さんとぼく」

作) 尾崎 順子 家の光

コウノトリが飛来する田んぼの広がる村に暮らす小学生のぼくと、毎日道ですれ違ってお兄さんの交流を描いた物語です。



今の季節の田んぼの様子やコウノトリが、とても美しく描かれていたのですが、雑誌の挿絵なので、見てもらいにくいなあ・・・と、思っていたところ、担任の先生が、タブレットで撮って、電子黒板に映してくれました。

5年生

「つみきのいえ」

作) 平田 研也 白泉社

ほとんどの建物が水没した土地で暮らす老人。ある日落とし物を探しに海に潜ると…。

2008年に 世界中の映画祭で20冠に輝いた短編アニメーション「つみきのいえ」を、作者である加藤久仁生（監督）、平田研也（脚本）の二人が絵本として描きおろしました。



水に沈んでいく家を積み重ねて生きて行くなんて、さみしいお話のようですが、そこには素敵な思い出を積み重ねたおじいさんの人生があったのです。

さみしいなんて一つも描かれてなく、温かで柔らかいたくさんのおじいさんの思い出・・・。

取り立てて珍しい人生ではないけれどとても幸せな人生。

細かく絵を見ていくと 文章には描かれていないおじいさんのストーリーが 想像できます。

つみきの家に住み続けているおじいさんの気持ちが 少しでもつたわつたらなあ、と思いました。

6年生

「どうするティリー？」

作) レオ・レオニ あすなる書房

あきらめないで！ どんなに高い壁だって乗り越える方法はきっと見つかる。

小さな知恵と勇気で世界を変えた1ぴきのねずみの物語。



当たり前のようなことも、思考停止せずに考え続けることが大切。

困難に思えることも、諦めずに希望を持ち続ければきっと解決できる。

この絵本から、そんなメッセージを感じました。

そして この本が発刊されたのは、ベルリンの壁崩壊の頃。

ティリー達の目の前にある壁は、それを模して描かれたのではないかな・・・と思うのです。

「うまれたよ! ホタル」

作) 中瀬 潤 岩崎書店

成虫だけでなく、卵も幼虫も蛹も光るゲンジボタル。

水辺で生まれ、上陸する様子等、幻想的な写真で見えます。



美山でも ホタルが飛び始めました。
身近な生き物のことなので 興味深くみてくれていました。

09:30 | 読み聞かせ

◀ 前 1 2 3 4 5 6 次 ▶ カテゴリ選択 ▼ 10件 ▼